

まちかど アルバム



県民文化会館

ものづくりの楽しさを子どもたちに

6月9日(土)、県民文化会館で、「因幡の手づくりまつり」が開催されました。これは、子どもたちに「ものづくり」の楽しさを体験してもらおうと企画されたもので、約1600人の子どもが参加。県内の学生や各種団体により、「ぶんぶんゴマ」や万華鏡などを作製する56のブースが設置されました。鳥取大学の学生による「バンバン鉄砲」というブースでは、子どもたちが学生から糸のご盤の使い方を教わりながら、ゴム鉄砲を作っていました。

袋河原広場周辺

河原町チャリティー^{あゆ}鮎つり大会

6月10日(日)、千代川袋河原広場周辺で、「河原町チャリティー鮎つり大会」が開催されました。10回目となる今年の大会には、県内外の愛好家30人が参加。アユの強い縄張り意識を利用して、おとりのアユで釣る「友釣り」で、自慢の腕を競った結果、予選3時間で18匹、決勝1時間で8匹という好記録が生まれました。釣れたアユは、河原地域の2つの福祉施設に寄贈されました。



市役所本庁舎

鳥取の水が最高金賞を受賞

食品の品評会として世界的に権威のある「モンドセレクション」の2007年度審査会で、気高町^{しもみつと}下光元の天然水「宝喜の水」が最高金賞を受賞。6月1日(金)、製造・販売元の株式会社ヤスオカ^{やすおかだいじ}の安岡大次社長が竹内市長を訪問し、受賞の報告を行いました。安岡さんは、「今回の受賞で県外から問い合わせが殺到している。たくさんの人に宝喜の水を知ってもらえてうれしい」と笑顔で喜びを語っていました。



青谷町^{ちゅうごう}中郷地区公民館

ちまき作りで世代間交流

5月26日(土)、中郷地区の食事サービスボランティア「すずらんの家」と地区の小学生が、公民館でちまきづくりやレクリエーションを行い、交流を深めました。これは、昨年まで中郷小学校が世代間交流事業として毎年実施してきたものを、今年から公民館と地区のみなさんが引き継いで開催したものです。会員のていねいな指導^{ささ}で笹の香りのする熱々のちまきが出来上がると、児童たちはおいしそうにほおぼっていました。





鹿野ゆめ本陣

あゝ 「藍のある暮し」のススメ

6月1日(金)から10日(日)まで、鹿野ゆめ本陣2階のギャラリーで、しかの藍工房作品展「藍のある暮し」が開催されました。作品展には、藍染めのテーブルクロスやのれん、Tシャツなどさまざまな作品が展示され、期間中は200人を超える来場者がありました。中には、「藍」の奥深い世界に感動し、その場で作品を買い求めたり、まとまった数を注文したりする人もいました。

気高地域

テレビを消して話をしようよ

浜村小学校の子どもたちが気高町総合支所の防災行政無線で、地域の人たちに「ノーテレビデー」を呼びかけました。気高地域では、3年前からの保育園と小・中学校の子どもたちが規則正しい生活を送ることができるように、毎週木曜日をノーテレビデーとしています。子どもたちは、「今日あった事を家族に話したい」、「テレビを消して家族でトランプをしたい」、「いっぱい本を読みたい」とその日やってみようことを語り、テレビを見ないように呼びかけていました。



福部町中央公民館

らっきょうの漬け方教えます

6月10日(日)、福部町中央公民館で、町外からも多数の人が参加し、「らっきょう漬け方講習会」が開催されました。講習会では「一発漬け」とか「簡単漬け」と呼ばれている、1カ月後には食べられる漬け方が紹介されました。参加者は、講師の指導のもと、福部町特産のらっきょうの茎と根を切り落としたり、洗ったり、酢液に漬け込むといった一連の作業を実際に行いました。持ち帰られたらっきょうは、家族の健康を支える一品となることでしょう。

佐治町中央公民館

緑で遊ぼう「山野草の寄せ植え」

6月3日(日)、佐治町中央公民館で「山野草の寄せ植え」が開催されました。講師は鳥取山野草会。初めて「寄せ植え」をするという人も多数参加しました。ベニチガヤやドクダミなどの山野草を思い思いに組み合わせ、根元をコケでしっかりと固めると完成。風に揺れるかれんな山野草の趣に、参加者のみなさんは満足そうでした。



なわしろ 国府町楠城

国府マストリフェスタ 2007

5月27日(日)、「第16回国府マストリフェスタ2007」が袋川上流の国府町楠城で開催され、県内外から家族連れや釣り愛好家など約千人が訪れました。この日は天候にも恵まれ、絶好のコンディション。大勢の釣り人が、大物を狙って所狭しと釣り竿を繰り出していました。

